



人権教育参観日について

11月9日(土)はお忙しいところ、参観いただきありがとうございました。

学校生活や日々の授業の中で、協力する場面、参加や体験を多くできる場面を設定し、人権について考えるきっかけを設定しています。思いが伝えられたり、話がしっかりと聞けたり、お互いの考えの違いが認められたり、自分なりの方法でコミュニケーションを取ることができたりしたとき、児童生徒たちの人権教育が深まっていると考えます。

当日の授業の中でも、そうした場面がたくさん見られたと思います。今後も日々の積み重ねを通して、思いや願いを感じ取り、課題解決に向けて行動できる力を育てていきたいと思っています。(文責：西村)



《参観日の様子》

自分の意見を相手が納得できるように伝えています。

居住地校交流について

今年度は小学部4名の児童が居住地校交流を行っています。小学部入学時から取り組んでいる児童がほとんどなので、継続年数も長くなってきています。新学年になって初めての時は、少し緊張している様子も見られたようですが、交流校には、小さい頃から慣れ親しんだ友だちがたくさんいるので、すぐに打ち解けることができています。子ども同士が自然に関わり、話をしたり、一緒にゲームをしたりして楽しむ姿が見られます。

交流が終わった後は「交流校の友だちと一緒に作業をしてくれたり、やりやすいように工夫してくれたりして、子どもたちの成長を感じます。」「あたたかい声かけややさしさに触れ、楽しい時間を過ごすことができました。」「積極的に参加できていてうれしいです。」等の感想が聞かれます。年間の実施回数は少ないのですが、年数の積み重ねで、本校児童、交流校児童の確かな力へとつながっています。

来年度も継続し、地域で生活していく仲間としての関わりを深めていってほしいと思っています。(文責：山根)



作品「緑」



作品は、てぬぐいとして製品化され販売中。

卒業生は今…②

昨年度卒業生の勝田菜央さんの現在の生活の様子を紹介します。勝田さんは就労継続支援B型作業所と生活介護事業所を2か所、それぞれ目的に合わせて利用しています。まず、B型作業所では、得意な絵やアイロンビーズ等の創作活動を生かして製品づくりをし、楽しみながら働いています。また、生活介護事業所では、目的によって曜日毎に利用場所を分けています。PTさんの指導を受けながら身体を動かす日、ゆっくり好きなことをしながら過ごす日等、生活にメリハリをつけているようです。事業所の方々にお話を伺うと、利用者さんや職員さんから愛されながら、自分らしく生活しているようで、頼もしさを感じました。(文責：中島)